

福岡労働局:「外国人雇用状況」届出状況(令和 6年10月末)を公表

25.01.31

福岡労働局が令和6年10月末時点の届出状況をまとめて公表。外国人労働者数・事業所数ともに過去最高水準と説明。産業別・在留資格別の構成比が把握できる資料となる。都市部での就業集中と人手不足分野での受入が目立つ。適正な労務管理と相談体制の周知が重要と位置付け。採用・定着の戦略立案に活用できる基礎データである。雇用サービスや支援窓口への導線も併せて案内された。県・市町の施策との連携の前提資料として機能する。企業・教育機関・支援団体に広く参照が推奨される。県内の雇用実態の可視化に資する公表である。



福岡県：外国人留学生に関する情報交換会を初開催 (7/1・アクロス福岡)

25.06.27

企業人事と大学・短大・専修・日本語学校の支援担当を結ぶ。
参加企業27社、大学等23校のブース交流形式で実施。
採用・就職支援の実務情報を双方向に共有する狙い。
留学生の地域定着とミスマッチ縮小に資する設計。
県主催で継続的なプラットフォーム化を見据える。
採用初心者企業の学びの機会としても機能。
課題抽出と改善サイクルの構築に寄与する。
次回以降の連携拡大・横展開を意識した試行。
地域の教育資源と産業の接続強化を図る。
当日の開催に先立ち詳細を告知した。



2024年7月開催時の博多会場風景（本年開催会場は異なります）

 PR TIMES

外国人留学生進学フェア博多会場の規模を拡大...

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/press-release/r-yugakusei-joho-kokan.html>

M-VISION:ミャンマー特定技能 7名が入国、北九州の外食企業へ配属予定

25.01.10

ミャンマー出身の特定技能(外食)人材7名の入国を公表。
研修後に北九州の外食企業各店舗へ配属される見込み。
登録支援機関が生活・就労両面の定着を伴走支援。
人手不足が続く外食分野の即戦力化を狙う動き。
日本語・業務研修と在留手続の連携を強調。
地域での雇用創出と多文化職場づくりを推進。
トラブル未然防止のための相談体制を提示。
可視化された受入事例として他社にも示唆。
地方都市での採用チャネル拡大の実例。
成果検証と横展開が今後の課題となる。



M-Vision10

福岡県の飲食店に配属予定のミャンマ...

<https://m-vision10.jp/news/4834/>

FDSO: 特定技能ドライバー第 1号の採用支援、南福岡自動車学校で評価試験

25.04.08

外国人ドライバー支援機構が第1号採用支援の実施を発表。
グループ校で評価試験を行い物流企業での就労に接続。
免許取得支援や在留手続、生活支援を一体で提供。
物流の人手不足と2024年問題に対応する枠組み。
安全教育と現場OJTの体制を整備した点が特徴。
地域の運送業界における受入モデルとして注目。
連携企業・機関との役割分担を明確化。
実績の蓄積により制度運用の改善に寄与。
ドライバー職の裾野拡大につながる可能性。
県内事業者にとっての実務参考情報となる。



PR TIMES

特定技能外国人トラックドライバー誕生...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000006.000145602.html>

進学フェア(博多)規模拡大:日本語学校からの来場増を見込み

25.04.07

教育イベント運営のアクセスが博多会場の規模拡大を告知。
久留米地区など日本語学校からの団体来場を見込む。
留学生の進学・就職の情報提供機能を強化。
学校・企業・自治体の出展連携を促進。
地域の人材定着へ裾野を広げる狙いがある。
会場運営・動線設計の改善で満足度を向上。
学から就労へのパイプ形成に資するイベント。
多言語案内や相談ブースの整備を周知。
年度初の大型企画として注目を集めた。
定期開催化に向けた試金石となる。



 PR TIMES

外国人留学生進学フェア博多会場...

https://www.access-t.co.jp/news/2025-04-07_679/

福岡外語専門学校：31の国・地域から396名が入学— 多文化環境で学ぶ

25.04.10

福岡外語専門学校が4月の入学式を実施し入学者を公表。

31の国・地域から396名が入学したと発表された。

語学・職業教育に加え地域企業との連携も推進。

留学生のキャリア形成と地域定着を支援する。

異文化協働の学習機会を継続的に提供。

生活・就労相談体制の整備も進めている。

実務教育と資格取得支援を両輪で展開。

地域産業のグローバル化への貢献を強調。

卒業後の就職・進学の実績開示を継続。

教育の透明性と質保証を意識した発信。



www.fflc.ac.jp

FFLC [福岡外語専門学校] —日本人と多国籍...

<https://www.fflc.ac.jp/news/5170/>

YOU MAKE IT:福岡で外国人住民との交流『よるごはん meeting』を継続開催

25.04.21

一般社団法人YOU MAKE ITが交流イベントの継続開催を告知。
福岡在住の外国人や留学生、市民が交流する場を提供。
就学・就労・生活相談にもつながる設計とした。
多文化共生の受け皿として地域で定着している。
企業・教育機関の定着支援を補完する効果がある。
参加しやすい平日夜の開催で参加機会を拡大。
英語・やさしい日本語での案内に配慮。
コミュニティ形成により孤立防止を図る。
地域理解の促進とトラブル予防にも資する。
継続運営のための協賛呼びかけも行った。



 PR TIMES

福岡市・毎週水曜日】外国人住民が...

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000031.000060503.html>

技能実習生が2年で痛感した厳しい待遇 最低賃金審議会で意見陳述へ

2025.07.31

福岡県の最低賃金（時給992円）の上げ幅を決める福岡地方最低賃金審議会で、介護現場で働くミャンマー人の技能実習生の女性（24）が31日、意見陳述をする。厚生労働省によると、技能実習生が直接意見陳述するのは全国初とみられ、最低賃金で働く技能実習生の現状を訴える。審議会は労使双方が最低賃金に関する意見を述べる機会を設けている。今回は女性を支援する労働組合から「日本を支える労働者である外国人技能実習生の意見も聞くべきだ」との申し出を受け、実施を決めた。意見陳述する女性は、北九州市内の高齢者介護施設で働く。日本のアニメが好きで高校時代から日本語を学び、大学卒業後は語学留学をして日本でミャンマー語を教えるのが夢だった。



意見陳述の練習をするミャンマー人技能実習生の女性。読みにくい漢字のある場所にはマーカーが引いてある＝北九州市小倉北区で2025年7月26日、山下智恵撮影

技能実習生の指導員に「みなし労働」適用し残業代を減額、22万円支払い命令...福岡高裁が1審判決変更

2025.08.29

外国人技能実習生の指導員だった女性（42）に「みなし労働」を適用できるかどうか争われた訴訟の差し戻し控訴審の判決で、福岡高裁（高瀬順久裁判長）は28日、適用を否定して残業代の支払いを命じた1審・熊本地裁判決を変更し、適用できるとして残業代を減額した。労働基準法は雇用側が労働時間の算定が難しい労働者にはみなし労働を適用し、あらかじめ定めた時間分の賃金を支払うと規定する。1、2審は、女性の業務日報を基に労働時間の算定は可能と判断。適用を否定し、勤務先の監理団体に残業代約29万円の支払いを命じた。一方、最高裁は昨年4月、適否を改めて審理する必要があるとし、審理を福岡高裁に差し戻していた。



福岡高等裁判所

反発の声に不安感じつつも「日本で働きたい」 外国人留学生向けの合同企業説明会 企業側は人手不足に直面

2025.10.15

福岡県内で学ぶ外国人留学生は去年1万9000人を超え、今年はさらに増える傾向です。そんな中で、留学生を対象にした合同企業説明会が開かれました。福岡市・天神で15日に開かれた合同企業説明会には、建設業やホテル業などの33社が出展し、福岡の大学や専門学校で学ぶ外国人留学生約600人が参加しました。不安は感じつつも「日本で働きたいという気持ちは変わらない」と話していました。今や外国人労働者は日本経済とともに支える大切な存在で、合同企業説明会は企業と留学生をつなぐ新たなチャンスを生み出していると言えそうです。



福岡大と糸島市の企業が外国人支援に注力 食文化の維持や健康的な生活をサポート

2025.10.24

日本で働いたり学んだりする外国人が健康的な生活を送れるよう、福岡都市圏の大学や企業で支援する取り組みが広がっている。福岡大（福岡市城南区）では、食事制限などがある学生が安心できる環境づくりを目指す活動がスタート。糸島市の企業は外国人スタッフ向けの歯科検診を始めた。



【速報】死亡したのはインドネシア国籍の23歳の技能実習生 解体中の建物が倒壊して作業員2人死亡 福岡

2025.07.16

福岡県久留米市で、解体中の建物が倒壊して作業員2人が死亡した事故で、死亡した作業員の1人はインドネシア国籍の23歳の技能実習生と分かりました。

警察の16日の発表によりますと、新たに身元が確認されたのは、福岡県八女市に住む技能実習生、サクティラーマダニ サプトラさん（23）です。

この事故は15日午後、福岡県久留米市六ツ門町で、解体中だった鉄骨2階建ての建物が倒壊したものです。現場では6人が作業にあたっていました。このうち3人は「ミシミシ」という音に気づいて逃げ、無事でした。



死体遺棄に問われたベトナム人技能実習生（21）に 2審も有罪判決 福岡高裁が控訴棄却「死体を隠匿 する行為」 孤立出産の末、交際相手の自宅で死産

2025.11.04

去年、死産した赤ちゃんをごみ箱に遺棄したとされるベトナム人技能実習生の控訴審。

福岡高裁は1審の有罪判決を支持し控訴を棄却しました。1審判決によりますと、ベトナム国籍の技能実習生グエン・テイ・グエット被告は、去年2月、福岡市博多区の交際相手の家で死産した赤ちゃんをビニール袋に入れ、ごみ箱に遺棄しました。無罪を主張したグエット被告に対し1審の福岡地裁は、「赤ちゃんを処分しようとした」と認定。懲役1年6か月執行猶予3年の判決を言い渡し、弁護側が控訴していました。



1審の院内スケッチ

福岡県で技能実習生の労災が過去最多の73人 福岡労働局がまとめ、法令違反は343事業場

2025.12.02

福岡労働局のまとめで、2024年に福岡県内の外国人技能実習生で労災が発生した人数が73人と調査開始以降で過去最多となったことが分かった。また、実習生の受け入れ事業場の調査では343事業場で法令違反が確認され、こちらも過去最多を更新しており、労働安全衛生の確保が課題となっている。労災発生件数: 73人（2018年の調査開始以降で過去最多）
法令違反事業場: 343事業場 監督指導対象: 実習生を受け入れている498カ所の事業場
背景には、増加する外国人労働者（2025年10月末時点で福岡県内8万5385人）に対し、安全教育や法令遵守の体制が追いついていない状況が浮き彫りとなっている。



西日本新聞

福岡県で技能実習生の労災が過去...

「柳川の方が給料が高いよ」千葉県で行方不明のベトナム国籍の技能実習生(24)を不法残留の疑いで現行犯逮捕 福岡・柳川市

2025.10.31

福岡県柳川市のドラッグストアで発生した万引き通報をきっかけに、不法残留の疑いでベトナム国籍の男（24）が現行犯逮捕されました。逮捕の経緯: 2025年10月31日、柳川市内のドラッグストアで万引きの疑いで保護された際、在留期限（2025年8月）を約2ヶ月過ぎていたことが判明しました。本人の供述: SNSで「柳川の方が給料が高いよ」という情報を聞き、千葉県から柳川市へ移動してきたと話しています。背景: 男は元技能実習生で、2024年から千葉県で行方不明届が出されていました。しかし、SNSで知り合った紹介者とは連絡が取れず、所持金も底をつき帰国用の航空券も買えない状態だったと容疑を認めています。ベトナム人技能実習生の失踪は社会問題化しており、令和6年の統計では失踪率が1.2%にのぼっています

